

南スーダンに送るな

新任務反対市民・野党議員ら次々訴え

南スーダンPKO（国連平和維持活動）に派兵する第11次派遣隊の任行式が行われた19日、戦争法の廃止を求める「19日行動」が各地で行われた。総がかり行動実行委員会が主催した衆院第2議員会館前での行動には3800人（主催者発表）が参加。「駆け付け警護」などの新任務が付与された自衛隊を南スーダンに送るな、と声をあげた。↓関連②面

戦争法廃止求め 3800人

国会前

リー・ファニング氏（39）は、「敵と味方が入り交じる状況だった。現在の南スーダンと酷似している」と語り、平和はとても大事なものの、アメリカのようにならないで。

「安全保障関連法に反対する学者の会」の広渡清吾氏（東京大学名誉教授）は、戦争法によって「戦後70年、憲法9条のもとで築き上げた国際的地位が崩壊してしまう」と指摘。「これまでの共闘に確信をもっ

て、安倍政権に代わる政権を展望しよう」と訴えまし

民進党の初鹿明博衆院議

戦争法で初の派兵

青森駐屯地壮行式開く

内戦状態の南スーダンに派兵されるPKO（国連平和維持活動）第11次派遣隊の壮行式が19日、青森駐屯地青森市で開かれ、陸上

自衛隊第9師団を基幹とした隊員約350人と家族約300人が参加した。安保法制「戦争法」に基づき「駆け付け警護」と「宿営地共同防衛」が付与され、任務遂行のための武器使用が可能になりました。

今回の部隊には、過去最

高となる15人の女性隊員が含まれています。10代の隊員も数人いるとい

員、社民党の又市征治幹事。戦争法は廃止しかな長、日本共産党の小池晃野党の共闘で自公その補完勢力を少数派に追い込む。そのために、市民のみなさんの後押しが必要で、「一緒に頑張ります」と呼びかけました。



「南スーダンへの派兵反対」「戦争法廃止」と抗議する人たち=19日、衆院第2議員会館前



南スーダン派遣施設隊（第11次要員）と家族=19日、青森駐屯地

見守る家族

1/20 家族

稲田朋美防衛相は訓示で、新任務付与について、自衛隊の国際平和協力の

同日、青森市内では20日

訴えました。↓関連②面